

機器利用技術講習会のご案内

【熱間加工再現試験装置】

～ 1500℃で金属の材料試験ができます ～

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

- ◆日 時：平成22年11月4日（木）① 9：45～11：45
平成22年11月4日（木）② 14：45～16：45
平成22年11月5日（金）③ 14：45～16：45

- ◆場 所：大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）
当日は、講習開始時刻前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

- ◆定 員：各コース（①～③）とも2社（参加人数は1社2名まで）
※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。
※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます（無料）。

- ◆費用：無料

- ◆申込み先：大阪府立産業技術総合研究所 業務推進部 技術普及課

※ お申し込みはメール (fukyu@tri.pref.osaka.jp) またはFAX (0725-51-2520) でお願ひします。
メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。
なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

- ◆対象機器：熱間加工再現試験装置

本装置は、変形条件や温度条件、雰囲気などを、コンピュータを用いて正確に制御し、高速変形から超低速変形、高速熱処理など種々の熱間加工を再現できる試験装置です。1500℃までの温度条件において、金属材料の圧縮・引張り試験が行え、耐熱強度やひずみ速度の影響の評価、加工熱処理の評価を行うことができます。さらに、レーザー変位計による熱膨張の測定が可能であり、変態点の測定や連続冷却変態曲線(CCT曲線)の作成など金属材料の開発に用いることができます。

本講習会では、熱間加工再現試験装置の紹介および操作方法の説明を行うとともに、実際に機器をお使いいただき、高温条件における圧縮試験を行っていただきます。

【主な仕様】装置名：富士電波工機製 THERMECMASTOR-Z
最大荷重：20ton
最大変形速度：500mm/秒
加熱方法：高周波誘導加熱（～1500℃）

なお、システム等に関するご質問は、下記講習担当者までお問い合わせください。



- ◆講習担当：大阪府立産業技術総合研究所（TEL:0725-51-2518）

機械金属部 加工成形系 四宮 徳章、中本 貴之

